

# 7 三瀨保育園 園だより

## JULY 2021

天気が良ければ“晴れたー”という理由で、雨の日は“降ったー”というのが理由で、それぞれのクラスが“待ってました！”と言わんばかりに外に出かけてしまうものですから、日によっては午前中園舎には誰もいないという事が何日もありました。そんな中、私は電話番号をしながら園に残っているのですが、どちらの天気の時も、子ども達の帰ってきた時の顔を見れば、沢山の発見と充実した時間がそこにあったのだろうと一瞬で感じ取ることが出来ます。

ご家庭には日々キッズリーで配信させていただいておりますが、帰ってきた直後の子ども達の満足げな言葉は、まぎれもなくそれぞれ自分を主人公として過ごしている証だと日々感じます。

そんな活動を終えて、子ども達がお昼寝をしているときスタッフたちは顔を合わせて子ども達のことを中心に話をしています。“この子がこんな事に気付いていたよ。”“あの子は遊び方をこんな風に工夫していた。”等。子ども達のつぶやきと眼差しを観察した人達にしか出てこないエピソードは、新鮮そのもので、大人にはない感性や、想像を超えてくる行動にわくわくしながら話し合いが展開する事も多いです。



そうした中から、“次はこういう活動してみる？”等の話も出てきます。短期的な一日の活動もあれば、長期的に子ども達を観察していこうとするプロジェクト型になることも。子ども達の近くにおいて、そのちょっと先の事を考えることは、結果が分からない分だけ未知数で楽しみもあります。

さあ、6月の中旬から準備を進めている“ウキウキ☆まつり”。タイトルだけではなく、子ども達は当日どんな事をしたいか？等も考えました。そして、行動開始。いくつかのチームに分かれた段階で大人達が招集されました。子ども数名のグループに大人が一人仲間入りして話し合い。チーム毎に“やりたいこと”の実現に向けてアクション！さあ、どんな当日を迎えるのか…楽しみです。当日を終えたらきっと子ども達で感想を言い合い、う

まくいったか？等語るはずですが、そう、Plan-Do-See-Check! お仕事をしている大人達には当たり前のことですが、いずれ社会に出る三瀨保育園の子ども達も今から自然とやっているの頼もしい限りです。

7月2日(金)は3・4・5歳クラスの子達だけのお祭りですが、上手くいっても、いけない部分があっても皆で楽しみたいと思います。

そして、夕方にはご家庭の大人をお招きしてのプチ保育参観。普段キッズリーでの写真での様子でしかお伝え出来ない園での様子を、是非見いらしてください。普段のお迎えより早めのご都合をつけて頂くご家庭もあるかと思います、お忙しい中感謝申し上げます。

園友 裕子

## クラス目標 ~1か月大切にしたいこと~

### たんぽぽ組

水遊びや沐浴を通して水に触れて遊ぶことを楽しむ。保育者に見守られながら、安定した生活リズムで過ごす。

### もも組

水や泥の感触を楽しみ、夏ならではの遊びで思いっきり遊ぶ。簡単な身の回りのことを自分でしようとする。

### ばら組

水の心地よさを感じ、様々な水遊びを楽しむ。保育者の援助を受けながら、自分の気持ちを簡単な言葉や態度で表現できるようにする。

### うめ組

プール活動や水遊びなど保育者や友達と一緒に遊ぶ。夏の生活の仕方を身につけ、快適に生活する。

### すみれ組

保育者や友達と一緒に夏の遊びや行事を楽しむ解放感を味わう。身近な生き物に触れたり、植物の成長の様子を見たりして、興味関心を持つ。

### ゆり組

遊びを通して水の不思議を知る。夏季の健康、安全、清潔に留意し一人一人が快適に過ごせるようにする。

## 7月の行事予定

2日(金)	ウキウキ☆まつり お弁当の日	20日(火)	身体測定 地震訓練
15日(木)	避難訓練	28日(水)	お誕生会

### ●7月祝日●

#### 一平日一

7月19日(月)  
海の日ではありません。

#### 一祝日一

7月22日(木) 海の日  
7月23日(金) スポーツの日  
\*続けて4連休のご家庭もあるかと思います。  
素敵な休日を！



### ●7月2日(金) ウキウキ☆まつり プチ保育参観 ●

16:15▶	うめ組	保育室集合
16:30▶	すみれ組	1階保育室集合(元ゆりの部屋)
	ゆり組	1階保育室集合

\*たんぽぽ・もも・ばら組は通常保育です。

## ウィズコロナの中、子ども達と日々を過ごすこと ～ウキウキ☆まつりの準備～

新型コロナウイルスにより、去年夕涼み会が開催できず、大人たちが中心になって考えて開催したのが「あそびワンダーランド」でした。

そして、今年7月2日に進化を遂げて「ウキウキ☆まつり」を開催します。

去年の「あそびワンダーランド」を経験している子ども達は、頼りがいもたくましさも増えています。実はこの名前自体、ゆり組の子ども達が考えてくれました。当日行うゲームも自分たちが一からアイデアを出してくれました。何をしたいのか？そのゲームを作るのに何が必要か？どうやって作るのか・・・？各グループで話し合いをし、子ども達が考えを出し合って製作を進めています。

私、大瀬は紙相撲製作チームです。メンバーは私と4人のゆり組の子ども達。カスを紙コップやゼリーカップを使って作りたいというので、材料を探していると、一人の子が5センチ角の小さなスポンジに興味を惹かれました。試しにそのスポンジと他の材料を用いて作り、相撲をやってみるとうまくいきませんでした。しかし、その子は別の素材を組み合わせて再チャレンジ。それでも上手くいきそうになかった時、別の



子が「これをくっつけて大きくしてみたらいいやん！」と提案し再々チャレンジ。さらに多くの素材を組み合わせて、高さを出してみたりと工夫した姿がありました。が、しかし、ここでもまだうまくいきませんでした。じっと見ていると、それでも子どもたちは終わらせず、次は高さだけでなく横幅にも工夫をし始めました。すると、うまくいき「ヨッシャー!!!」とガッツポーズで

互いに喜びあう姿がありました。きっと、今までだと小さな

スポンジを手にした時点で「小さいし出来んよ！こっちのほうがよくない？」と先に答えを出して違うものを提案する言葉を掛けていたのではないかと思います。



今回、子ども達を見ていると失敗しても自分たちで考えて作っていくことで、与えられたもので製作するよりも、多くの喜びを感じているのでは？と思いました。そして多くの学びがあったことも見て取れます。

ウィズコロナの中で子ども達と向き合う中に、アフターコロナの子ども達を想像しながら私自身学んでいます。

大瀬 典子

## 会話の生まれる場所

最近、大人も子どもも自然に足を止めて自由に楽しんでいる場所があります。

カブトムシの観察コーナーです。

一年ほど前、うめ組が卵から育てていて、それが成虫になるまでを皆で観察しようとしたのですが、知らない子達は「どんな虫が出てくるんだろう」と楽しみに覗き込んでおり、つい、ここ1週間ほどで続々と成虫になりました。



虫コーナーには、拡大鏡・図鑑・懐中電灯・てんとう虫メジャー（\*てんとう虫〇個分で換算する手作りのメジャー）がおりてあり、それらを使って自由に観察したりしてOKなのですが・・・。



スタッフ不在だけど、子ども達がここに座り込んで図鑑を読み込んだり、友達同士が虫を見ながら語り合ったりしています。

大人と子どもが同じ目線で虫かごをのぞき込み、語り合う姿がある場所です。

## ■熱中症と朝ごはん■

結論から申しますと「自宅でできる一番の熱中症対策は朝ごはんを食べる事！」というお話です。

朝食を食べずに出かけると、体の水分タンクが空のまま活動することになり、とても危険です。朝食をとると、水分だけでなく塩分も補給することが出来、体温を下げる効果のある汗も出やすくなります。

ご飯とお味噌汁だけでも、きちんと食べられたら十分な水分と塩分が補給できるのです。これからもっと暑くなりますので、子ども達の事を想い是非朝食をとって保育園にお越しください。

### 朝食（ごはんのみそ汁に含まれる水分とカロリーの目安）

- ・ごはん280グラム▶水分200ml カロリー470kcal
- ・味噌汁150グラム▶水分150ml カロリー40kcal



この組み合わせで経口補水液500mlに相当する電解質も取ることが出来ます。

看護師 岩部 佳菜子